

会 議 録

会議名	令和2年度 第2回 宇都宮市廃棄物減量等推進審議会
開催日時	令和2年12月25日(金) 15:30～16:30
開催場所	宇都宮市役所 14A会議室
出席者	<p>【委員】宇梶哲，岡本源二郎，内藤良弘，成島隆裕，原千鶴，樋口徹，浅海伸子，大金勇夫，野澤克子，増淵祥子，上野すみ子，落合正樹，高橋克彦，平河内一雄，河本聖業，大八木延子，高崎光子 計17名</p> <p>【事務局】環境部長，上下水道局技術担当次長，環境部次長，環境政策課長，環境政策課総務担当主幹，環境保全課長，廃棄物対策課長，ごみ減量課長，廃棄物施設課長，下水道管理課長，下水道建設課長，生活排水課長，ごみ減量課課長補佐，ごみ減量課職員7名，廃棄物施設課職員1名，生活排水課職員3名</p>
公開・非公開	公開
傍聴者	—
議題	宇都宮市一般廃棄物処理基本計画（素案）について
会議結果	事務局（案）のとおりとする。

主な質疑応答	
宇都宮市一般廃棄物処理基本計画（素案）について	
樋口徹委員	<p>全体的によく出来た計画となっている。</p> <p>施策事業にICTの活用については記載があったが、もう少し活用できる取組がないか、ICTを活用していくことで目標値の達成を早めることができないかを検討して欲しい。</p> <p>また、令和3年度は、新型コロナウイルスの影響がまだ相当残ると思うので、市民の行動パターンなどを考慮しながら、計画を推進していただきたい。</p>
事務局	<p>ICTの活用は、非常に重要だと認識しており、どのような施策に盛り込むことができるかを十分に検討していきたい。</p> <p>また、コロナ禍により、地域の分別講習会が開催できない状況となっていたため、限られた条件の中ではあるが、ごみの減量化・資源化を推進し、市民に対して働きかけていきたい。</p>
浅海伸子委員	<p>食品ロス削減や海洋プラスチックごみ対策が、改定計画に盛り込まれたことは非常に意義がある。</p>
岡本源二郎委員	<p>海洋プラスチックごみ対策について、過剰包装の抑制に係る取組はどのようなものを想定しているのか。</p>
事務局	<p>過剰包装の抑制については、エコショップ認定制度という取組の中で、事業者に対して働きかけを行っており、継続して取組を推進していく。</p>

原千鶴委員	フードドライブについては、拡充となっているが、受入の窓口を増やしていくということか。それとも受入期間を伸ばしていくということか。
事務局	これまで年数回、期間を区切って行っていたが、通年での受入を実施し、取組を拡充していく。窓口については、従来どおり、ごみ減量課の窓口において受付する。
原千鶴委員	本庁舎1階など、市民の目につくところで受付を実施すれば、次回来庁した際に持ってこようとする方もいらっしゃると思うので、検討していただきたい。
事務局	本庁舎1階で行うことによる利便性・啓発の効果は承知しているが、通年実施の課題を確認しながら、アプリなどの媒体を活用し、市民への普及啓発を強化していきたい。
増淵祥子委員	エコレストランについては、どのような要件で認定され、何店舗あるのか。
事務局	リサイクルの実施などの要件があり、現在14店舗を認定している。
増淵祥子委員	認定店を定期的に応募しているのか。
事務局	定期的に働きかけを行うとともに、既存の認定店については、要件を満たしているかを継続的に確認している。
大金勇夫委員	約700の自治会があるので大変だと思うが、分別講習会の実施などにより、働きかけ継続して行っていただきたい。
事務局	分別講習会は、市民の皆様に直接訴えかけることができる非常に重要な機会、施策だと考えている。コロナ禍においても、できることをやっていきたい。
高崎光子委員	行政情報が行き届きにくい世帯への周知として、どの世帯も水道は使用するので、水道使用に係るメーターの確認を事業者が行った際に合わせて行うことはできないか。
事務局	上下水道局と連携し、検討する。
上野すみ子委員	市民・事業者意識調査結果について、プラスチック製容器包装の分別がわかりにくいという意見があるが、汚れたものの取扱いについては、どのようにすべきか。
事務局	洗う手間と時間をおかけすることになるので、可能な範囲で資源になるものは、資源物として出していただくよう説明させていただいている。
上野すみ子委員	事業系生ごみの資源化については、手間はかかるが、処理費用が安くなるわけではないため、取組が進まないと聞いているがどうか。
事務局	市としても、事業者からそういった意見を聞いており、課題として認識している。
大八木延子委員	コロナ禍において、全員がマスクを着用し、捨てているわけだが、ごみの収集の際、塵芥車の回転盤により、ごみ袋が破裂しているのをよく見かける。作業員が安全に収集を行うために、ごみ袋の空気を抜くように周知を強化して欲しい。
事務局	現在も周知しているが、多くの方に伝わるよう、より一層の強化を図りたい。